

# ひまわり



2017  
MAR

## もくじ

- 2 情勢 ～地域活動支援センターの現状～
- 3 ゴスペルコンサートご来場ありがとうございました！
- 4 ちょっと聞いてよ！第9回  
小学校のみなさんとの交流
- 5 アビリンピック京都大会に参加しました！  
JA京都様より京野菜をいただきました！
- 6 第40次国会請願署名経過報告・時・ご寄付

アノインテッドマスクワイア ゴスペルコンサート構成詩

## 社会福祉法人 亀岡福祉会

法人本部：〒621-0033 京都府亀岡市蔭田野町佐伯大門30-1

TEL:0771-24-2596 FAX:0771-24-2597

HP <http://www.kamecomyu.net/>

# 柳谷香理

KAORI YANAGIDANI

亀岡福祉会相談支援センター  
巴(ともえ)  
センター長

## 地域活動支援センターの現状

### 地域活動支援センターの役割

亀岡福祉会でも、障害がありひきこもっている人たちの「地域で生き生きと生活するための活動の場や交流の場」として、2013年度から亀岡市から委託を受けて、地域活動支援センター「絆」がスタートしました。取り組みの内容は、料理の活動を中心に、創作活動や相談支援をしています。絆を利用されている方の多くは、主婦や一人暮らしをされている方は、就職に向けて身体や生活リズムを整えたという方で、20代から60代まで幅広い年齢層となっています。各関係機関から紹介される方々の中には、虐待の可能性のある方やひきこもっておられて、「絆」の利用に繋がったという方も少なくありません。ある利用者さんは、一人暮らしで食生活が崩れていましたが、絆を利用することで、一定改善され、体調が良くなり、ドクターもびつくりされたほどです。

最初は、不安や緊張で堅い表情をされていた方が、活動を通して、他のメンバー

や職員と関わりを広げる中で、自分自身に自信が持てるようになってきています。笑顔も増え、安心できる大切な場として位置付けていることを実感する毎日です。きょうされんの調査では、地域活動支援センターは全国に3224カ所あります(2013年3月現在)。形の上では法律にもとづいた事業ですが、他の障害福祉の事業と比べて、市町村から事業所に支払われる運営費用がとてもしない上に、市町村によって、その金額には大きな差があることがわかりました。(標準額を国が示して、市町村が決めていきます)

### 厳しい現状

生きづらさを抱えておられる方が多く、職員として、一人ひとりの思いや願いを受け止め、丁寧な支援をしていきたいと思うばかりですが、現状は職員体制が厳しく、丁寧に関わりたいと思えば思うほど、制度の矛盾を感じざるを得ません。

今回の第40次国会請願署名の請願項目では、「地域活動支援センターについては、国がその実情を把握し、安定した運営が

できるよう予算確保のための措置を講じてください」としています。

### 多くの声を力に

私たちも地域活動センターの実態や必要性を地域のみなさんに知っていただき、障害のある人がこれからも安心して利用できるよう、多くのみなさんの声や賛同を力に、制度の改善に向けて運動を進めていきたいと思っております。今後ともご理解ご協力のほど、よろしくお願いいたします。



2月11日

# Anointed mass choir ゴスペルコンサート

## たくさんのご来場ありがとうございました!



会場前にはみんなの夢・願いを書いて展示しました

開催日前夜から雪が降り続き、無事に開催できるだろうか...と心配をしましたが、当日朝には雪も止み、太陽が顔を見せる晴れ模様になりました。

コンサートのスタートは、亀岡福祉会メンバーによる合唱構成詩。小さなプレハブの亀岡共同作業所のスライドがステージ上のスクリーンに映し出され、かめおか作業所、第二かめおか作業所、第三かめおか作業所、デイセンター ばればれ...と、仕事や日中活動の場をひとつずつ広げてきたことや暮らしの場であるグループホームができてきたことを歌にのせて伝えました。

アノインテッド・マスクワイアのみなさんによるゴスペルコンサートは、今回も大迫力、パワーいっぱいステージでした。会場みんなで盛り上がる場面もあり、福祉会メンバーはもちろん、老若男女、会場一体となって「心のままに」歌って踊っての大盛り上がりでした。また、会場ロビーにて開催した震災支援企画(物産展、展示)にもたくさんの方が立ち寄っていただき、「忘れないこと」「私たちにできること」を皆様と考えることができました。

来場者アンケートには、「感動しました」「一曲一曲、一言一言が魂に響きました」「泣いたり、笑ったり、感動でいっぱいです」などなど、たくさんうれしい感想が寄せられ、今回も楽しい時間の共有をおして、お互いを知り合う貴重なひとときになったと感じています。

最後になってしまいました。コンサートにご来場いただいたみなさま、広報・宣伝活動にご協力いただきましたみなさま、合唱構成詩のステージと一緒に参加していただいたみなさま、ご協力いただいた全てのみなさま、どうもありがとうございました。



最後はみんながステージに上がり「ビリーブ」を大合唱しました!



アノインテッドマスクワイアのみなさんによる大迫力のコンサート



ゴスペルコンサート前にはみんなの願いを込めた合唱構成詩を披露しました

# 「ちょっと聞いてよ！」

## 第9回 開 大地さん (かめおか作業所)

昨年3月に丹波支援学校を卒業して、まもなく、かめおか作業所に来て1年になる、開さんにインタビューをします。

作業所に来て一年が経とうとしていますが今の感想は？

楽しいです。お仕事をしてお金をもらって、自分の好きなものを買うときが一番嬉しいです。お仕事のほかに、スポーツレクリエーションで走ったりするのも楽しかったです。

作業所の楽しみは何ですか？

休憩時間にお友達とタブレットと一緒にいることが楽しいです。

将来チャレンジしたいことは何ですか？

僕は、絵を描くことが好きなので、沢山の人に見てほしいです。

みんなにメッセージを

僕は今年、2年目になりますがお仕事をもっと頑張りたいです！よろしくお願いします。

一緒に働いているメンバーにも開さんのことを聞いてみました。

木村さん・・・明るいし、いつも笑って仕事を一生懸命するしえらいと思う。

渡辺さん・・・自分の名前を呼んでくれるから嬉しい。とてもフレンドリーだと思う。

谷口さん・・・一緒にお出かけできたらいいな。

毎朝、大好きなおばあちゃんの見送りに「行って来ます！おばあちゃん」と言いながら迎えるの車に乗り込む開さんです。

明るい性格から作業所の誰からも好かれています。仲間と一緒に仕事をしながら、色々な経験を重ねて、素敵な人になっていってほしいと思います。



## 小学校のみなさんとの交流 亀岡市内17校と福祉交流学習をしています★



二月七日に福祉交流学習があり、本梅小学校の五年生が来所されました。また事前に学校を訪問し、「作業所ってどんなところ？」というテーマで授業をさせていただくこともできました。

今年度の五年生は五人。児童のみなさんは「どうやってメンバーさんとお話したらいいのだろう？」「どうやってお仕事をしているんだろう？」と、事前に学んだことで、それぞれに疑問や目標をもちつつも、緊張で精いっぱい面持ちで玄関に入ってきました。けれど、「一緒にいて牛乳パックを渡したり、一緒に破ったりするうちに、さん、どうぞ。」と声掛けができるよ

うになり、メンバーがそれに応えたのが伝わると「気持ちに通じた！」「こんなこともできるんや。」と、時間が経つにつれて笑顔がこぼれていきました。

あつという間の40分間でしたが、児童のみなさんは作業所のメンバーと関わる体験から、障害のある人たちと心が通じ合える関係になれたことに自信が持てたようです。

実際にメンバーと一緒に作業を体験することで、「働く」とはどういうことなのか？を考えた時、障害のある人たちが地域生活を送る上で自分ができることをしていきたい！と思ったりするきっかけになる福祉交流学習となりました。





# 「届けよう！願いがいっぱいつまった署名を国会に！」

## ～きょうされん第40次国会請願署名・募金運動～

昨年12月から始まった『きょうされん第40次国会請願署名・募金運動』は、早くも中盤を迎えています。

『まずは自分たちから！』と、署名・募金を進めるにあたり、自分たちが『なぜ署名・募金にとりくむのか？』『今期の請願項目は？』と、全体での学習会や各事業所でのメンバー学習会など、『知る』ことを大切に学習を深めてきました。『よし！がんばって集めて、自分たちの願いを国会に届けるんやっ！』と気持ちも充分です。

亀岡では、株式会社みんなどはたらく、社会福祉法人信和福祉会、社会福祉法人亀岡福祉会の3法人で共同して署名・募金運動を進めていこうと推進委員会も立ち上げています。推進委員会で決めた目標は署名14,000筆・募金500,000円。目標達成に向け現在奮闘中です。

この広報誌「ひまわり」の読者のみなさまにも1月号とあわせて署名用紙をお届けしたところ、2月末現在で約254筆とたくさんのご協力をいただきました。どうもありがとうございます。また、亀岡市内の企業、事業所にも署名のお願いをしていく団体まわりや2月からは地元のスーパーやホームセンター等の店頭をお借りして、毎週水曜日と金曜日にメンバー・職員・保護者が集まり、街頭署名も行っています。『おはようございます』『署名・募金お願いします！』と地域の皆さまに障害のある人たちの『今』を知ってもらうことを大切にしながら元気に声を出しています。

今期の国会請願行動日は5月25日(木)です。最後まで、「あたりまえに働き えらべるくらしを」のスローガンとともに、一人ひとりの声を伝え、たくさんの方の署名を集めて国会へ届けたいと思います。



### 現在の到達(2017年3月7日現在)

署 名	2,269筆
募 金	100,588円

ご寄付 1月/2月

2/1 あき建材 様 菓子セット

2/16 (株)富中天明堂 様 生地

「ご寄付ありがとうございました。」

## 時

20歳後半から始めたスポーツは、ラグビー、サッカー、空手等さまざま。現在に至っています。以前はジムに通いウエイトトレイニングもしていました。が、今は朝早く起きて週何回かのランニング、それにくわえ週2回はスポーツクラブで汗を流しています。

今の職場に入って約1年半になりますが、以前からしてきたスポーツで体力的にも頑張れているのだと思っています。妻と娘には寒い時期のランニングはかえって体を悪くするからと止められています。

昔から『人の命は地球より重い』と言われていますが、最近心を痛める事件・事故が多く起こっています。人が人思いやる心を幼年期にもっともって教育すべきだと思っています。

毎日仕事をしていて、若いメンバーがキラキラとした眼で『仕事楽しい』『新しい仕事面白い』の話を多く聞くと支援している立場の私が逆に教えられることも多々あります。仕事をしている中では、心と体が疲れることもありましたが以前の研修で『その人の人生を負うことはできない』の話を聞き、少し気持ちが楽になって、もう少し頑張ろうと思えるようになりました。

(H)